

アラサー傾子

かんたん操作ガイド

この「かんたん操作ガイド」は「アラサー傾子」について
簡単にお知らせする為のものです

本製品をご使用になる前に必ず「取扱説明書」を読み理解された上で正しい取り扱いをして下さい



安全な作業のために

■正しい服装と保護具

運転・作業にふさわしい服を着用し、軽装やサンダル履き等で運転・作業をしないでください



■始業点検

運転の前に必ず始業点検を行い、異常箇所はただちに補修して下さい
また、車両に堆積した草等はきれいに取り除いて下さい
火災のおそれがあります



【燃料の点検と補給】

燃料が不足している場合は燃料キャップを開けて燃料を補給します
燃料の補給は、燃料タンクの給油限界位置(赤いマーク)以下にしてください



使用燃料：自動車用無鉛ガソリン
燃料タンク容量：4.1ℓ

「エンジン取扱説明書」も合わせてお読み下さい

本製品は草刈作業車です。草刈作業以外の用途には使用しないで下さい

本製品は公道及び公道とみなされる道路での運転は出来ません

本製品に添付されている警告ラベルの指示に従い禁止事項は絶対に行わないで下さい

1 始動・運転・駐停車

始動

⚠ 電源 ON は必ず送信機から行ってください。本機の誤作動の恐れがあります

1 右スティックを下に下げたまま送信機の電源を入れます

※スティックを下げずに電源を入れるとアラームが鳴ります。アラームはスティックを下げると解除されます

2 本機にキーを差し込み、右に回します

3 エンジンスイッチを押して凸にします

4 燃料コックを [開] 位置にします

5 チョークレバーを [閉] 位置にします

6 スロットルレバーを [低] と [高] の間にします

7 リコイルスタータグリップを握って勢いよく引っぺります

8 チョークレバーを [開] の位置に戻します

9 エンジンの様子を見ながら約 5 分間暖機運転をします



キー

エンジン
スイッチ

送信機主電源



チョーク

閉

開

燃料コック



右スティックを
下げたまま
スイッチ
ON !



スロットルレバー



リコイルスタータグリップ



勢いよく
引っぺる!!!

運転

送信機は、単三電池 4 本で作動します。電圧が低下し、送信機の電源が入らなくなる前に電池を交換してください

⚠ 運転時は本製品の周辺に人を近づけないで下さい

1 スロットルレバーを [高] の位置にします

※バッテリーを充電するために、スロットルレバーを[高]の位置にしてください

2 送信機の左右のスティックを操作して、本機を動かします

※スティックを大きく倒すと、作業速度が上がります

※スティックを指で弾くような操作は本機を傷めます。運転中はスティックから指を離さないように操作してください



スロットルレバー



前進・後進

旋回

前進・旋回

後進・旋回

駐停車

⚠ 駐車ブレーキを装備しておりませんので、傾斜地では駐車・停車を行わないでください

1 スロットルレバーを [低] 位置にします

2 エンジンスイッチを押し込み、エンジンが止まったことを確認してから手を離します

3 本機→送信機の順番に電源を切ります



スロットルレバー



エンジンスイッチ

2 作業

作業・表示ランプ・刈刃交換

作業

- ⚠ 作業前に刈刃の点検を行ってください
- ⚠ 点検はエンジンが切れていることを確認して行ってください
- ⚠ 本機は防水性を有しておりませんので、雨天時の時は運転しないでください

- 1 スロットルレバーを [高] の位置にします
※バッテリーを充電するために、スロットルレバーを [高] の位置にしてください

- 2 刈刃クラッチスイッチを ON にします
※作業時の走行速度は2段階あります

刈刃クラッチスイッチ	クラッチ	走行速度
奥	OFF	100%
中間	ON	50%
手前	ON	80%

- 3 刈高さ調整ダイヤルを回して適切な刈高さに調整します
※0~180mmまで調整できます

- 4 作業が終了したら刈刃クラッチスイッチを OFF にします



スロットルレバー



刈刃クラッチOFF

奥



中間



手前

刈高さ調整ダイヤル



送信機は高温(40℃以上)・低温(-10℃以下)で保管しないでください
電池を付けたままにしておくと、電池性能の劣化や液漏れによる回路破損の恐れがあります
長期間使用しない場合は電池を外して保管してください

表示ランプ

製品本体にある2つのランプは機械の状態を表します



表示ランプ

表示ランプ	状態
点灯なし	電源OFF
青色点滅	電源ON
黄色点滅	刈刃クラッチスイッチON
紫色点滅	バッテリー電圧低下

刈刃交換

- ⚠ 刈刃は必ず厚い手袋を着用し慎重に取り扱ってください

- 1 刈刃の角が摩耗して切れ味が悪くなったときは、刈刃を裏返しにして取り付けます
- 2 刈刃(全38枚)は刈刃取付金具(全19箇所)に2枚ずつ背中合わせでボルトとゆるみ止めナットで取付けてあります
- 3 ゆるみ止めナットは平たい方をボルトに向けてねじ込みます
- 4 ボルトはナット側面よりネジ山が2山以上突出していることと、2枚の刈刃が刈刃取付金具のなかで回転できることを確認してください
- 5 摩耗した刈刃を交換する際は、全数(38枚)同時に交換してください
※一部のみ交換をしてしまうと、回転バランスがくずれ振動が大きくなり危険です



刈刃



3 お手入れ

通常使用後のお手入れ
刈取装置の清掃

エアクリーナ清掃
エンジンオイル点検

草刈作業中にたまった刈草はこまめに除去してください
特に枯草の場合は1時間に1回以上の清掃を実施してください

通常使用後のお手入れ

堆積した草をそのままにしておくと
出力低下、火災の原因になります

- ⚠ エンジンが停止していることを確認してください
- ⚠ 電装品やエンジン回りの電気配線部、エアクリーナには水をかけないください
- ❶ 使用後は車両に堆積した草や付着した泥等を取り除きます
- ❷ 刈刃やクローラに巻き付いた草や、堆積した草くずを取り除いてください
- ❸ モータやエンジン等の高温部が冷えてから、シートをかけて保管してください

エアクリーナ清掃

- ⚠ エLEMENTの汚れがひどくなるとエンジンの始動不良・出力不足・寿命低下を引き起こします

- ❶ 刈高さを最低位置へ移動し、ボルトを緩めてガードフレームを開けます

※刈高さを上げたまま無理に開けると、ガードフレームが曲がる恐れがあります

- ❷ エアクリーナカバーからナットを外し、カバーを取りはずします

- ❸ フィルターからナットを外し、フィルターを取りはずします

- ❹ 紙フィルターとウレタンフィルターに分け、軽く叩いて汚れを落とすか、エアーを内側から吹き付けてチリやほこりを取り除きます

※汚れをこすり落とそうとしないでください。フィルターの繊維に汚れが詰まる恐れがあります

- ❺ 汚れがひどい場合や破損がある場合は「エンジン取扱説明書」の指示に従って、清掃・交換を行ってください

- ❻ エアクリーナカバーを取り付け、エンジンカバーを閉めます

ボルト (2カ所)

ガードフレーム



エアクリーナ



ナット

紙フィルタ



ウレタンフィルタ



エンジンオイル点検

- ⚠ 補給がおろそかになるとエンジン故障の原因となります

- ❶ 車体をエンジンが水平になる場所に止めます

- ❷ 給油栓を外し、検油棒の間に油面があるか確認し、不足していたときは上限まで補給します

- ❸ オイルの汚れ・粘度を目視点検し、汚れがひどい場合・粘度不良の場合は交換します

※初回は20時間、以降は50時間毎を目安に交換

※オイル：ガソリンエンジン用オイル API・SJ級以上、SAE・10W-30 オイル量：1.1L



給油栓



検油棒